

一般質問



松澤 利行 議員 (自・未)

防災意識の高揚について

パンフレットの配布や防災訓練での周知等、PRに努めている。3回来館すると記念品を渡すスタンプカードを作成し、配布を始めたところだ。

密集住宅整備事業について

西品川一丁目地区は、再開発地域以外の大部分が木密地域なのに、なぜ木密地域不燃化10年プロジェクトから外されたのか。

消防団との連携について

1 首都直下地震の発生が危惧される中、可搬ポンプ積載車の導入が急がれるが、まだ8台が未整備となっている。車庫となる用地の確保がネックとなっているが、配備への更なる支援を。

「がん予防」及び「がん教育」について



新妻 さえ子 議員 (公明)

1 がん検診受診啓発イベントが予定されているが、開催時期や内容は。2 区では胃がん、肺がんのほか、7種のがん検診を行っているが、受診率は23区では真ん中あたりだ。

3 がん予防のため、土・日曜日に1か所までまとめて検診を受けられるよう体制を整備しては。4 禁煙治療費も助成するべきでは。5 子どもたちの30、40年先の胃がんリスク減のために、中学3年生への胃がんリスク検診を導入しては。

若者支援と新婚世帯支援について

1 区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。2 国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。

若者支援と新婚世帯支援

1 区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。2 国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。

3 独自の婚姻届を作成する自治体が増えている。区のオリジナル婚姻届を作成しては。4 区長 1 婚活事業には延べ約700名の区内在住・在勤の独身者に参加いただいた。また、品川区勤労者共済会事業としての直近3年間は約160名の参加であった。参加者が年々減少傾向にあるため、現在よりも幅広い周知や効果的な事業実施が必要だと考えている。

2 区では結婚から子育てまで幅広く施策を展開しており、国の支援事業の状況等を踏まえ研究していく。

3 補正欄の地域振興部長

1 最新の全国地震動予測地図によると、東京の地震発生確率は47%となっている。まだまだ区民の防災意識は低いと感じるが、防災意識の高揚を更に図る必要があるのでは。

「しながわ防災体験館」について

1 3月にリニューアルオープンしたしながわ防災体験館について7来館人数の推移は。2 来館者を増やすためのPRをどのように行っているか。3 再度来館してもらえよう、初期消火等の体験をした方に修了証を渡しては。

耐震診断助成について

1 区が耐震診断助成のために協定書を締結している機関の名前とその選定理由は。2 町会会館の耐震診断は全額助成をしているが、全額助成であるため、診断費用の算出根拠を区がしっかり把握する必要があるのでは。

1 平成31年度までに街路灯を全てLEDに取りかえていくことになったが7従来型水銀ランプの在庫の処分はどのように行っていくのか。1 街路灯としては明る過ぎないかという問題はクリアしたのか。7 取りかえにかかる総額は。2 商店街街飾りLED化については、都が事業費の80%を助成しているが、街路灯を兼ねているため、区も上乗せ助成をするべきでは。

1 11月の平日にスクエア荏原で実施予定だ。がんに関する講演や乳がん触診模様の展示等を検討している。2 複数のがん検診の同時受診や土日に受診可能な医療機関を増やせるよう努力していく。3 現在作成中の禁煙外来マップの反響等を踏まえ検討していく。4 除菌には抗生剤を服用するが、下痢や味覚異常等の副作用、逆流性

1 区では、2012年度まで婚活事業を実施し、その後受託事業者による品川区勤労者交流マリッジサポート事業として継続している。成果や課題は。2 国は所得が比較的低い新婚世帯を支援する事業を始めた。支援の重要性について区はどう考えているか。

1 住宅の耐震化について、区の現状は。2 公共施設の耐震化の状況と区総合庁舎が被災した場合の代替施設は。3 子どもたちへのケアについて7 全避難所に子どもの遊ぶスペースを確保すべきでは。1 防災時に親子の心の不安を相談できる窓口の設置と、心のケアができる専門性の高い人材確保等が必要では。4 女性に配慮した避難所運営を行えるよう、各避難所に女性を配置することを義務づけては。5 障がい者への対応について避難支援個別計画作成の取り組み状況と、今後の課題は。災害対策担当部長 1 住宅

率約76%と推計している。耐震改修促進計画に基づき、地域の方々や耐震性の確保に努めていく。2 防災上重要な公共施設の耐震化は、平成27年度までに完了しているため、区庁舎が被災した場合の代替施設の設定はしていない。3 避難所運営のルール等は、避難所ごとに地域の話し合いで定めている。様々なニーズがある中で総合的に検討するよう提案していく。1 健康相談窓口の設置や精神科医等による相談チームの巡回をすることとしており、そのための人材確保をしていく。4 避難所連絡会議の役員の約2割が女性であり、区としても避難所への女性職員の配置に努めている。5 支援者の確保等、避難行動要支援者の支援体制をつくることとし、具体化に向けた準備を進めている。

区議会だよりを音声で聞くことができます

区議会だよりの音声版「声の区議会だより」を、区議会ホームページで聞くことができます。この音声版は、区議会だよりを読み上げたものです。ぜひご利用ください。



品川区議会 声の区議会だより

検索

目の不自由な方へ、「声の区議会だより」(CD、カセットテープ)を無料で送付しています。ご希望の方は、区議会事務局調査係 ☎03-5742-6810までお問い合わせください。